

I-51

2022年 4月28日

年度「多摩地域市民活動公募助成」事業実施報告書

団体名 社会福祉法人 セント・ジョセフ会 聖ヨゼフホーム

代表者・役職名 氏名 鹿毛 弘道

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

僕の、私の大好きなお野菜を自分たちで育てて食べてみよう。

2. 団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

団体名:社会福祉法人 セント・ジョセフ会 聖ヨゼフホーム

設立:西暦 1946年 8月

聖ヨゼフホームは児童福祉法第41条に基づいた児童養護施設であり、その事業内容を柱として養育していく。

キリスト・ロア会の基本理念に基づき、隣人愛の精神をもって、職員は協力して児童それぞれの個性に応じた社会的自立支援、及び保護者支援を行えるように努める。併せて、退所後も根気強く、相談援助を行い、子ども及び保護者の幸せに尽力する。

1946年8月 カトリック・キリスト・ロア宣教修道女会によって、戦災孤児を救済する為、埼玉県下に設立。

1948年1月 児童福祉法に基づく養護施設となる。

1949年12月 東京都保谷市に移転、児童115名に増員。

1952年10月 社会福祉法人に組織変更。

1959年5月 園舎改築

1991年9月 現在地に園舎全面改築、定員60名の中舎制となる

2007年5月 西東京市ショートステイ事業開始。

2008年4月 東京都専門機能強化型施設として認可。

2012年4月 新園舎運用開始で1ユニット定員が6~7名となる。

2020年3月 小規模児童養護施設(グループホーム)西東京市・東村山市に計4ホームとなる(地域分散化計画)

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

目的:新型コロナの影響で学校の行事・施設内行事もほとんど行えず、入所児童の心身の健康度も低い状態。また、社会的にも野菜農家さんたちの野菜廃棄などの苦悩もある社会情勢のため共に元気になれる機会を得るため。

背景:今年度(2020年)の冬に、茨城の農家さんにたくさんの廃棄する予定の冬野菜を施設に寄贈していただく機会を施設のある市内の支援団体さんより頂き、その農家さんをつながりをお願いした。子ども達に体験作業の機会を考え実施により食育につながることを考えた。生産

農家様と子どもたちとのつながりを考え、とつても貴重な体験を得られる機会にしたいと、貴殿のプロジェクトを活用して実施を考えた。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

茨城県古河市の農家様と活動計画を共有し実行することを考えている。農家様との大まかな企画の共有は事前に丁寧に行う。

当施設の入所児童 小学生中学生の希望者を募り、夏野菜の収穫体験を機にこのプログラムの導入とし、畑の一部を聖ヨゼフホームの畑として借り契約を結ぶ。冬野菜の種まき、季節に応じた野菜の種まき、出荷先の見学を行う。収穫までの管理は農家様に委託し、初冬に児童も作業に加わり野菜の収穫作業の手伝いをする。収穫した野菜を施設の食卓に活かしてもらい、食の大切さを学ぶ。近隣の公園にて、農家様と昼食を取りながらコミュニケーションをはかる。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

結果

実施数:5回(7月・10月2回・11月・3月)

参加者数:のべ115人

成果

種まきや収穫体験を通じ子どもたちが、食の大切さ(食育)と野菜を好きになった。食卓での会話でも『こんなに大きい白菜だったんだよ』など話す機会も増えた。農家様とのかかわりを通じ、続けていくことにより褒められ、名前を覚えてもらえるなど自己肯定感を高められるようになった。また、将来の職業選択の一つとして考えられるきっかけとなった。都会では体験のできないことを、このプロジェクトより得ることができ参加してくれる子どもたちの中には、一年間を通じて毎回参加する児童もいて、継続して行うことの意識があったと感じられる。

地域、社会への効果

農協や市場に出したものは変わらないが、宅食=子どもたちがとった野菜・移動販売・スーパーにだしたことで、野菜のヒストリーを伝えることで買ってくれる。(子どもたちが手伝っている話をして下さいました)顔が見られないが、野菜を楽しみにしてくれている消費者がいることで、人との繋がりもでき、農家様の野菜を知るきっかけとなる消費者もいた。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

コロナ感染状況に応じ、実施の有無を農家様と検討しながら継続する。子どもたちの食育も引き続き、野菜を育て、出荷する過程を学びながら細く長く付き合っていけるように農家様とやり取りを行う。今後として、ホームステイが実施できなかったのも、今後児童にとっての仮の実家機能、心のよりどころの一つになれるよう長期休みにできるように検討する。また、職業選択の中に農業も考え、高校生のバイトができるよう進めていければと考えている。

7. 参考資料：プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等の現物またはコピー、活動状況の写真などを、“必ず”、別途、ご提供ください。



キャベツ畑やとうもろこしの畑があります！

近隣に牛舎があるので見学も可能！！



ネーブルパーク



地下迷路



ミニSL



子供の広場・船遊具

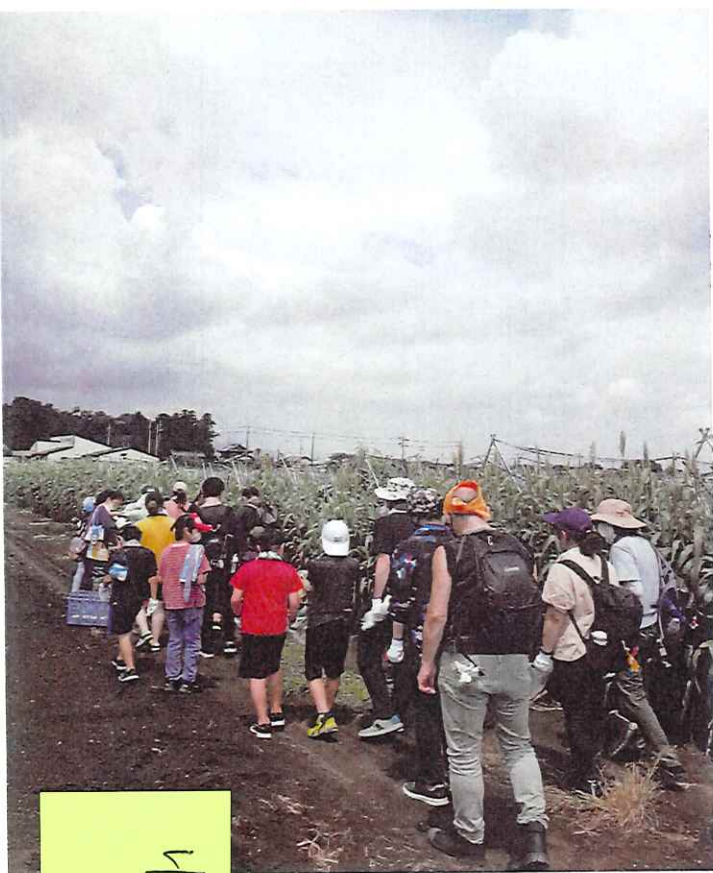


ポニー引き馬

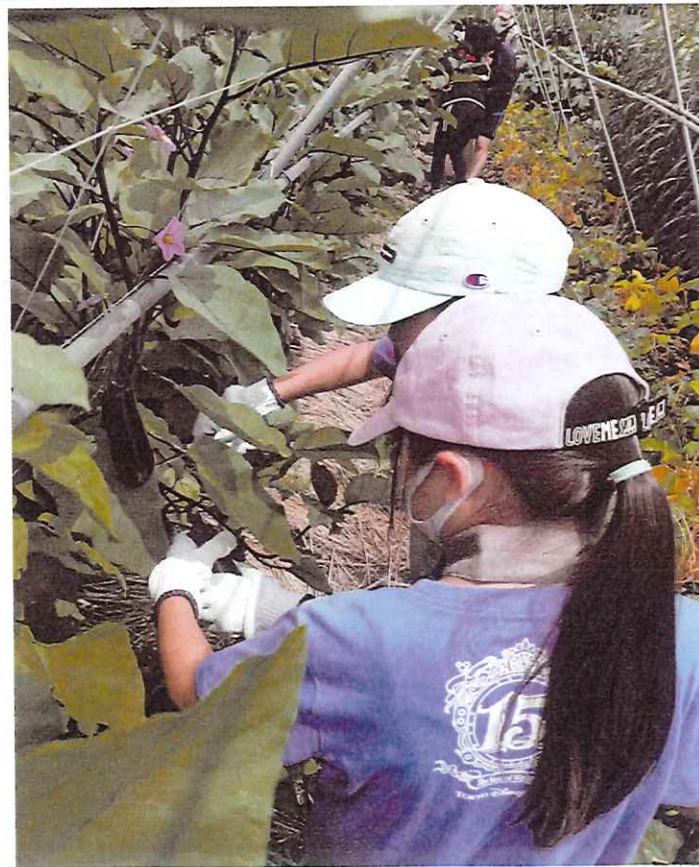


バーベキュー広場

他にもつり堀や水遊び古民家・民芸館があります！！



なすの収穫です！



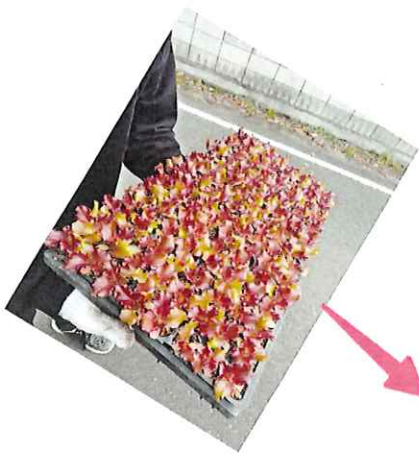
新鮮なので
とげとげに
気を付けながら
たくさん
とりました！！

7月実施
野菜収穫体験！

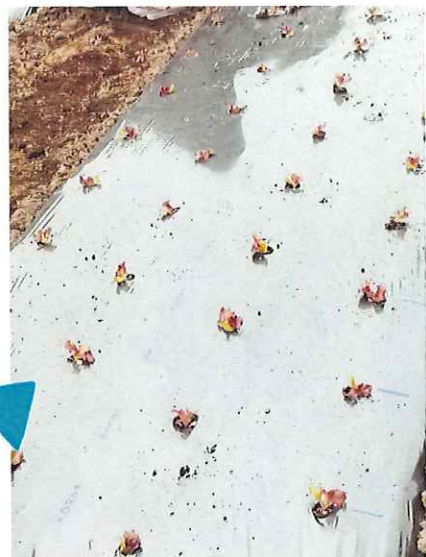


収穫後、叶っぱに報告を
しました。

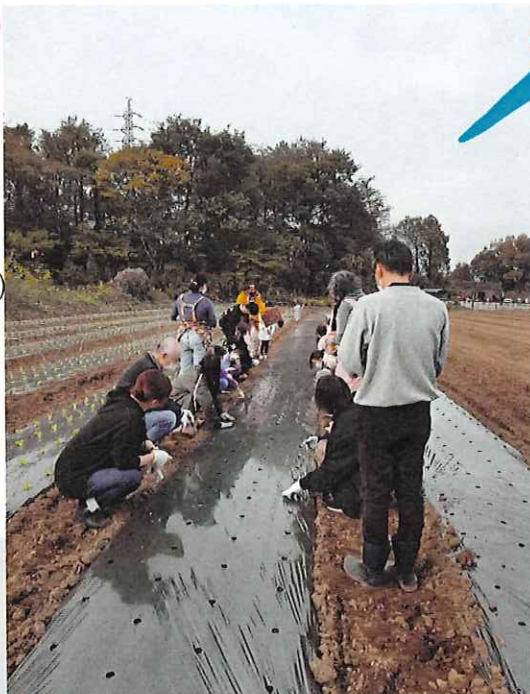
幼児さんもしっかり握ってとうもろこしをとりました！！



サニーレタスの苗の
 植え方を教えてもらいました！！
 200株くらい植えて、
 来年の1～2月に収穫予定！
 楽しみ～♪



みんな真剣に鈴木さんのお話を聞いていました(^▽^)



↓ほうれん草一生懸命とりました！



11月
 野菜収穫体験
 に行ってきました！！

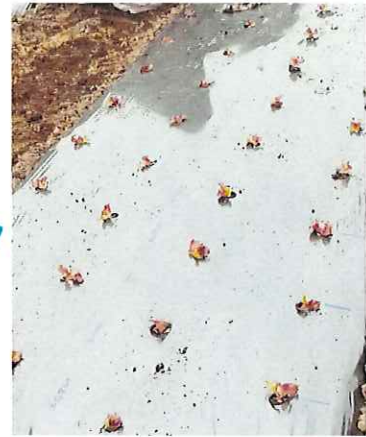
たくさんの大根をとりました！！とったらきれいに並べて出荷待ち！



↑白菜畑は近くに養豚所があり、独特のにおりが・・・豚の見学もして、おっきな白菜もとりました！！

サニーレタスを11月に植えたの覚えていますか??

みんなで鈴木さんに植え方を聞いて、200株植えたね!!



ビニールハウスに入っていただき、少しずつ成長しております!!

現在!!



↑4月初旬とれる予定だよー!!

そして、ほうれん草!!

みんなで一列になって植えたね★

10月24日に植えて、11月7日ころ芽が出ました!



重たいものが持てない
おじいちゃん・おばあちゃん
が買えるように移動(訪問)販売で
売られていました!!
美味しく食べてもらっていますよ☆
ありがとう!!



お久しぶりの通信でした★ これからも野菜収穫体験参加してね!!

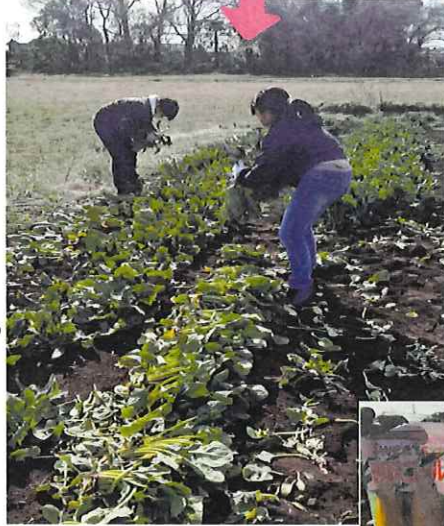
1年間のお礼を伝えてきました！！

ひかるくん・はーちゃん
しーなちゃん大活躍！！
ありがとう！！

今年度、夏に始まり3月で計5回の野菜収穫体験実施となりました。
ご参加ありがとうございます。
令和4年も続けていくので、ぜひ参加してね！！



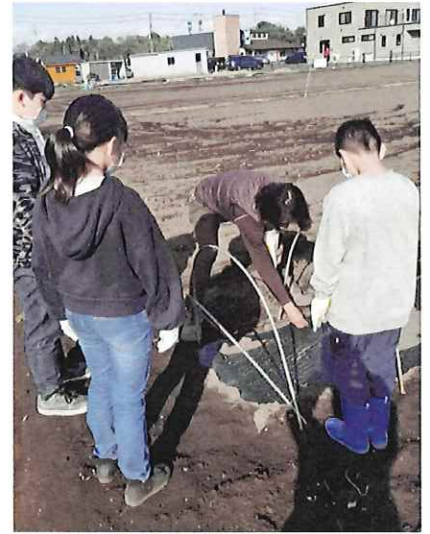
白菜、ブロッコリー、ほうれん草の
収穫をしてきたよ☆



鈴木農家のキャベツが入った
お弁当♪何食べるか悩んだよ👩🏻



とうもろこしの種を植えたよ！！
6月下旬とれる予定だよー！！⇒⇒



鈴木さんからお手紙をいただきました！

令和4年も一緒に収穫などしよう！！
待ってるよ！！
野菜もたくさん食べてね！！



うららかな春の差し日が心地よい
季節となりました。
寒暖の差が激しいですが、体調を崩して
いませんか？
皆さんと一緒に野菜のタネまき、収穫や、にべつ
ができてとても楽しかったです。
また遊びに来た時はみんなの笑顔と
たくさん見せて下さい。
いつでも待っています。

鈴木弘元